

## 現 場 説 明 書 追 加 事 項

工事名 岡山駅東口駅前広場整備工事（その３）

工 種	種 別	説 明 事 項										
	技術者の適正配置	1. 請負代金額 4,500万円以上の工事については、主任技術者又は監理技術者は専任とする。ただし、当初契約時における「請負代金額」は「許容価格」と読み替えて適用する。  2. 専任となる期間は、工事着手日から工事検査日までとし、修補等の指示を受けた場合は修補完了日までとする。 なお、この期間における技術者の変更は基本的に認めない。ただし、病気・退職等やむを得ない特別な事情がある場合は、この限りではない。この場合、変更となる事由を書面にて本市に申し出、承認を得ること。										
	施工時間帯	1. 本工事の施工時間帯は昼間施工（8:00～17:00）で考えているが、関係機関との協議により、これにより難しい場合は監督員と協議すること。										
	建設副産物	本工事から発生する建設発生土については、原則、現場内で利用することとし、搬出する場合においては以下のとおり指定するものとするが、工事間利用調整の状況によっては、設計変更の対象とする。なお、現場において予定していた土質及び土量等に変更があった場合は、速やかに監督員と協議すること。 <table border="1"><thead><tr><th>種 別</th><th>搬出先住所</th><th>搬出先名称</th><th>片道運搬距離</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td>第2種建設発生土</td><td>岡山市北区 北長瀬本町7番12</td><td>新力㈱</td><td>L=3.9km</td><td></td></tr></tbody></table>	種 別	搬出先住所	搬出先名称	片道運搬距離	備 考	第2種建設発生土	岡山市北区 北長瀬本町7番12	新力㈱	L=3.9km	
	種 別	搬出先住所	搬出先名称	片道運搬距離	備 考							
第2種建設発生土	岡山市北区 北長瀬本町7番12	新力㈱	L=3.9km									
	1. 受入条件については、下記のとおりとする。 1) 受入時間帯は、平日の8:00～17:00を予定している。 2) 土砂は、異物が混入していない建設発生土とする。  2. 建設発生土の処理については、施工計画書に基づき適正に処理すること。施工計画書に記している処理方法と異なる処理を行った場合は、契約違反となるので注意すること。施工計画書と異なる処理方法を行う場合は、事前に監督員と協議を行うこと。											

工 種	種 別	説 明 事 項																														
一般事項	建設副産物	<p>本工事から発生する特定建設資材廃棄物（コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材）及び産業廃棄物は、下記の再資源化施設に搬入するものとし、その再資源化等費（処分費。なお、岡山県内で処理する場合には産業廃棄物処理税相当額、又は、産業廃棄物の処理に係る税の条例が施行されている他の県で処理する場合には各県の産業廃棄物の処理に係る税相当額を含む。）については、見積単価を採用している。なお、運搬に先だち受入条件等を確認し、監督員に報告するものとする。</p> <p>また、下記再資源化施設については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。但し、現場条件や数量の変更等、受注者の責によらない事項についてはこの限りではない。</p> <p>特定建設資材廃棄物（建設リサイクル法）</p> <table><tr><th>種 別</th><th>処理場所</th><th>処理施設名</th><th>片道運搬距離</th><th>備 考</th></tr><tr><td>コンクリート</td><td>岡山市北区金山寺地内</td><td>中野開発(株)</td><td>L=11.0km</td><td></td></tr><tr><td>アスファルト・コンクリート</td><td>岡山市南区箕島地内</td><td>岡山アスコン(株)</td><td>L=10.7km</td><td></td></tr></table> <p>1. 受入条件については、下記のとおりとする。</p> <p>1) 受入時間帯は、平日の8:00～17:00を予定している。</p> <p>2) ゴミ等を混入させないこと。</p> <p>3) As殻については路盤材及び土砂の混入がない様努めるものとする。</p> <p>2. 特定建設資材廃棄物の処理については、契約締結時に契約書別紙に記載した施設以外の施設に持ち込みを行う場合は、契約違反となるので注意すること。契約書別紙に記載した施設以外の施設に持ち込みを行う場合は、事前に監督員と協議を行うこと。</p> <p>産業廃棄物（建設廃棄物処理指針）</p> <table><tr><th>種 別</th><th>処理場所</th><th>処理施設名</th><th>片道運搬距離</th><th>備 考</th></tr><tr><td>がれき類（レンガ・ブロック）</td><td>岡山市南区藤田地内</td><td>藤クリーン(株)</td><td>L=12.2km</td><td></td></tr><tr><td>廃プラスチック</td><td>倉敷市水島川崎通1丁目21番地並びに14番1</td><td>岡山県環境保全事業団水島処理場</td><td>L=35.0km</td><td></td></tr></table> <p>1. 受入条件については、下記のとおりとする。</p> <p>1) 受入時間帯は、平日の8:00～17:00を予定している。</p> <p>2) ゴミ等を混入させないこと。</p>	種 別	処理場所	処理施設名	片道運搬距離	備 考	コンクリート	岡山市北区金山寺地内	中野開発(株)	L=11.0km		アスファルト・コンクリート	岡山市南区箕島地内	岡山アスコン(株)	L=10.7km		種 別	処理場所	処理施設名	片道運搬距離	備 考	がれき類（レンガ・ブロック）	岡山市南区藤田地内	藤クリーン(株)	L=12.2km		廃プラスチック	倉敷市水島川崎通1丁目21番地並びに14番1	岡山県環境保全事業団水島処理場	L=35.0km	
種 別	処理場所	処理施設名	片道運搬距離	備 考																												
コンクリート	岡山市北区金山寺地内	中野開発(株)	L=11.0km																													
アスファルト・コンクリート	岡山市南区箕島地内	岡山アスコン(株)	L=10.7km																													
種 別	処理場所	処理施設名	片道運搬距離	備 考																												
がれき類（レンガ・ブロック）	岡山市南区藤田地内	藤クリーン(株)	L=12.2km																													
廃プラスチック	倉敷市水島川崎通1丁目21番地並びに14番1	岡山県環境保全事業団水島処理場	L=35.0km																													

工 種	種 別	説 明 事 項
一般事項	変更後請負代金額の算出	<p>1. 請負代金額に変更があった場合の変更後請負代金額の算出は、次の式による。</p> $\text{変更後請負代金額} = (\text{変更後設計金額(税抜)} \times \frac{\text{当初請負代金額(税込)}}{\text{当初設計金額(税込)}}) \times (1 + \text{消費税率})$ <p>上記の算定式で、括弧内の計算の結果、10,000円未満の端数を生じたときは、これを切り捨てる。</p>
	隣接工事	<p>本工事は、岡山駅東口駅前広場長庇ほか新築工事、県道岡山停車場線舗装工事、岡山電気軌道株式会社工事、道路占用工事と隣接するので、施工時の交通処理に当たっては、相互の連絡調整等を密にし円滑な交通処理に努めること。</p>
	交通規制	<p>本工事において、極力交通規制が伴わない工法又は、交通規制の期間が短縮される方法について検討し監督員に提出すること。</p>
	その他	<p>1. 工事の実施に当たっては、道路交通法第77条の規定に基づく所轄警察署長の許可を事前に受け一般交通に対する支障を最小限にとどめるものとする。</p> <p>2. 現道の交通処理については、万全を期するものとする。また、工事中一般交通等に支障を及ぼさないように安全確保に努めること。</p> <p>3. 公安委員会や地元との協議等に伴う要望事項については、監督員に報告すること。</p> <p>4. 工事期間中、沿道住民等の第三者により苦情、又は意見があった場合は丁寧に対応し直ちに監督員に報告するとともに適切な処置を講じなければならない。</p> <p>5. 工事中の一般交通開放区間の路面状況については、常時点検を行い特に注意を払い、万一凹凸等が生じた時は速やかに監督員に連絡し、対策を講じるものとする。</p> <p>6. 施工に際し、現道の路面を損傷あるいは汚損しないようにすること。尚、路面汚損防止対策が必要な場合は、監督員と協議すること。</p> <p>7. 現地の状況により既設構造物施設等の取壊し、復旧及び移設等の必要が生じた場合は、監督員と協議すること。</p> <p>8. 残土等の搬出に際し、公道等の路面汚濁防止に努め、舗装等の補修が必要となった場合は、監督員と協議すること。</p> <p>9. 本工事箇所は、とくに生活環境を保全する必要がある地域であるので施工に当たっては低騒音型、低振動型建設機械指定要領に基づき指定されている建設機械を使用するものとする。</p> <p>10. 工事箇所に緊急車両進入時は速やかに搬入を受け入れ、作業を止めて対応すること。</p> <p>11. 岡山駅利用者の通行がある中での工事となるため、歩行者等の安全には万全を期すこと。</p>

工 種	種 別	説 明 事 項
一般事項	その他	<p>12. 本工事は一級建築事務所弥田俊男設計建築事務所（以降、「監修者」という。）のデザイン監修を受ける工事であり、使用材料等で地上部の外見に係ることについては、発注前に監督員を通じて監修者の確認を受けること。監修者の意向により設計変更となる場合がある。</p> <p>13. 岡山駅利用者及び店舗等の営業に支障のないよう、看板の設置や誘導及び通行の確保などに十分配慮すること。また、岡山駅東口駅前広場や沿線道路でイベント等の活動が行われる場合は、関係機関と調整を十分に行い、協力すること。</p> <p>14. 本工事区域及び周辺では、市発注の別途工事の岡山駅東口駅前広場長庇ほか新築工事、県道岡山停車場線舗装工事、岡山電気軌道株式会社発注工事、道路占用工事等が同時期に予定されているため、施工時には十分協議調整して施工すること。</p> <p>15. 本工事区域には地下街があるため、騒音・振動等に十分配慮し施工すること。また、施工中の雨水等の処理についても十分配慮し施工すること。</p> <p>16. 本工事に伴う交通規制については、警察及び監督員と十分に協議調整すること。</p> <p>17. 駅舎付近で重機を使用する作業を行う場合は、予めＪＲ西日本岡山新幹線保線区と協議を行うこと。</p> <p>18. 本工事は、アスベストの事前調査が必要な工事である。  元請負業者は、事前調査及び撤去工事を以下の通り実施すること。  ・事前調査及び撤去については、大気汚染防止法及び石綿障害予防規則により実施すること。  ・「建築物」の調査にあたっては、有資格者による調査を実施すること。  ・令和2年11月30日付け環境省通知「大気汚染防止法の一部を改正する法律の施行等について」にて示されている「建築物」及び「工作物」（報告の対象外工作物あり）の事前調査結果については、石綿含有建材の有無に関わらず、発注者へ書面で報告及び都道府県知事等へgBizID（法人・個人事業主向け認証システム）にて報告を行うこと。  ・工事着手前までに事前調査結果の掲示（様式Ａ３以上看板を設置）すること。  ・除去等作業の結果は、発注者へ書面で報告しなければならない。  ・調査費は、計上していないが必要であれば協議すること。</p> <p>19. 土砂や廃棄物の飛散防止対策を行い、工事完成時に状況写真を提出すること。</p>

工 種	種 別	説 明 事 項
施工一般	一般事項	1. 施工中の民地への通路は確保するものとし、形態等については別途監督職員と協議すること。
作業土工	床掘り	1. 床掘り土質は、砂質土で見込んでいる。
	埋戻し	1. 本工事の埋戻し土は、発生土を流用するものとする。
	掘削工	1. 掘削土質は、砂質土で見込んでいる。 2. 流用土の仮置については、見込んでいないが、現地の状況により必要が生じた場合は、監督員と協議すること。
	盛土工	1. 購入土盛土は、単位体積重量4.0kN/m <sup>3</sup> の軽量盛土を使用すること。

工 種	種 別	説 明 事 項
仮設工	一般事項	<p>1 別図「参考図（積算用参考図）」は、任意仮設として積算内容を示したものである。よって、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。</p> <p>2 仮設の施工に当たっては関係法令要綱、指針及び現地条件を勘案のうえ、一般交通・沿道物件並びに工事の安全を十分考慮して施工しなければならない。</p>
	交通誘導警備員等	<p>1 交通誘導警備員を下記の通り見込んでいる。</p> <p>交通誘導警備員B（昼間交替要員無し） 66人（本工事費）</p> <p>交通誘導警備員B（昼間交替要員無し） 160人（附帯工事費）</p> <p>なお、配置場所等については、監督員と協議すること。</p>
	足場等設備工	<p>1 足場材として、以下のとおり見込んでいる。</p> <p>1）カスケード（壁泉水盤）施工用足場 A=230掛m<sup>2</sup>（別紙、参考図参照）</p> <p>2）既存建物外壁改修用足場 A=167掛m<sup>2</sup>（別紙、参考図参照）</p> <p>2 現地の状況により足場等設備工以外の仮設の必要性が生じる場合は、監督員と協議すること。</p>
	試掘	<p>カスケード（壁泉水盤）の基礎梁施工箇所において試掘を見込んでおり、契約後速やかに試掘を実施し、基礎梁への支障の有無を確認すること。</p> <p>構造物に支障がある場合は監督員と協議すること。</p> <p>復旧は発生土＋表層（再生密粒度As(13)t=3cmを見込んでいる。</p>
	その他	<p>現地の状況により他の仮設の必要性が生じた場合は、監督員と協議すること。</p>

工 種	種 別	説 明 事 項
植栽工	道路植栽工 公園植栽工	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 道路植栽の施工に当たっては、監督員と協議すること。</li> <li>2. 施肥を施工する前には、土壌調査（PH）を行い、その資料をもって監督員の承諾を得ること。</li> <li>3. 農薬（殺虫剤・殺菌剤）の使用にあたっては、農薬取締法、農薬関連法規はもとより、メーカー等で定める使用上の安全基準を遵守するものとする。</li> <li>4. 出来形管理については、街路樹管理台帳に準じてよい。但し、現場と管理台帳に相違が生じた場合は、速やかに監督員の承諾を受け修正するものとする。</li> <li>5. 新植等がある場合については、別紙様式により提出すること。</li> <li>6. 作業に当たっては、「道路植樹管理の手引き」（昭和59年1月中国地方建設局発行）及び「街路樹に関する基本方針」（昭和60年2月街路樹協会発行）を参考として施工すること。</li> </ol>
塗装工	施工	<p>施工に当たっては、塗装面積の数量計算書を提出すること。</p>
電気設備工	施工	<p>停電が発生する場合は下記によることとする。必要な場合は監督員と協議すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 広場利用者及び事業者への影響が最も少ない時間帯の施工とすること。</li> <li>2. 事前に作業手順書（停電計画）を提出すること。</li> </ol>
小規模水景設備工	カスケード （壁泉水盤）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 壁泉天端水槽（落水部）及び水盤水切り石（越水部）の高さはレベルとすること。</li> <li>2. 竣工後の施設の維持管理（点検、薬剤投入等）について、監督員が助言を求めた場合は協力すること。</li> </ol>

工 種	種 別	説 明 事 項
共通仮設費	役務費	<p>1. 本工事の水道管の給水装置設計審査・検査手数料（口径φ25以下）を見込んでいます。</p> <p>2. 本工事において、借地は見込んでいないが必要となった場合は監督員と協議すること。</p>
	技術管理費	<p>受注者は当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査、諸経費動向調査、施工合理化調査及び施工形態動向調査の対象工事となった場合には、調査等の必要な協力をする。工期経過後においても同様とする。</p>